

# ペドログリフ2020

## ～Engrave the history～

### ～ 理事長挨拶 ～

今年度は様々な場面でCOVID-19に悩まされながらの組織運営となり、例年通りが通用しない活動が続いてきました。JCI日本の活動にも影響を与え、9月開催の全国大会北海道札幌大会は日本理事会で激論が交わされた結果、史上初のWEB開催として実施され、総会を始めとするすべてのファンクションがオンラインでの設営となりました。

当JCでは「全国大会北海道札幌大会in喜多方」としJC会館で全国大会に参加する事となりました。JCの諸大会と言えば、開催地の魅力を全力で楽しむのも一つですので残念な面もありましたが、WEB開催であったために普段参加することが出来ないメンバーが多数参加したことは例年ない良い点だったと思います。

そして9月のLOM総会では次年度理事長と役員が選出され2021年度体制がスタートを切りました。活動がままならない今年度に見切りをつけて次年度への夢を描きたくりますが、JCは1年1年の積み重ねが大切です。

2021年を素晴らしいものにしたいと願うなら、今年度の残り2か月余りで何を産み出し、継承できるのかを各委員会では改めて考えていただきたいと思います。COVID-19により皆さんは多くの事を学んだはずです。この経験を糧としてJC活動に取り組んで頂けると信じてます。



第46代理事長  
古川 一裕

### 8月例会報告

2名のOB（鈴木一夫先輩と唐橋裕幸先輩）を講師にお招きし、自身の経験やJCで学んだことを講演して頂きました。鈴木先輩には、JCに対する自身の気持ちや考え方の変化を中心にお話をお聞きし、自身が理事長になる際にエピソードを教えてください、私自身も目頭が熱くなりました。

唐橋先輩には、JCと自社の絡み、夢を持つことの大切さを教えてください、明日からの活力やJCに対するエネルギーを感じることができました。先行きが見えない時代ですが、先輩二人のお話は普遍的な事柄が多く、気持ちを新たにできた例会になりました。誠にありがとうございました。

会員研修委員会 岩田悠二郎

### 10月例会告知

次年度理事長が決まり、本年もクロージングに向かう季節になってきましたが、皆様は今年の活動をどのように振り返りますか？10月例会は自分自身の人生を振り返って頂き、自分自身の未来について考える例会にしたいと思います。具体的には、自分自身の人生の成功体験、失敗談を理解することで自分の強み・弱みを学び、自分自身が人生で喜びを感じるポイント等を理解して頂きたいと思っております。

例会を通じて、自分の人生を見つめなおし、理想の自分とは何か？自分に足りない能力は何かなどを考える場にさせていただきたいと思います。オンラインを活用しながらハイブリッドスタイルをとる例会にしたいと考えているので、皆様のご出席お待ちしております。

会員研修委員会 岩田悠二郎

### 9月例会報告

我々は今急激な変化を求められています。しかし、それがかえって新たな気づきにもつながっております。その代表的なものが対面でのコミュニケーションであると思います。“直接会って会話を交わす”という行動が制限されたことで、改めてコミュニケーションの大切さを知る機会となったと感じます。

そのような中、9月例会では会員同士の結束と所属意識の向上を目的として、アスパラガス収穫体験とBBQにより絆を深めるための例会を行いました。収穫体験では、農家さんの想いを聞きおいしいアスパラガスを収穫してきました。そして会場へ向かいチーム対抗のBBQ料理対決を行いました。ルールは、用意した食材をその場で選び、米料理・プチトマト&アスパラガス料理・メインディッシュ（フリー）の計3品をチーム対抗で作るというものです。料理を作るためにはチームワークは欠かせません。チーム同士でコミュニケーションをとりながら料理を作ることで、仲間同士の絆を深める機会になったのではないかと感じます。

また、参加者一人一人に今後の自分の夢を語ってもらうことで、普段話すことのない話を共有でき、さらに絆を深めることができたと感じました。

組織運営委員会委員長 瓜生 真吾





## 臨時総会 & 通常総会報告

今年は、次年度理事長候補者の立候補が不在であったため、臨時総会と9月通常総会を同日開催となり、近年とは違う流れで進むことになりました。7月例会において理事長・監事選出委員会を決め、同委員会により次年度理事長候補者として、“武藏伸一郎”君を第47代理事長候補者として選出しました。そして、9月臨時総会にて出席者全員の信任を得て、晴れて次年度理事長候補者となりました。その後、9月通常総会にて、次年度の役員も決まり無事に総会を終えることができました。

古川一裕理事長は、総会の場で「今年の流れは何も特別なことではなく、今後も起こりうる出来事である」と話されました。また、今回の件で改めて会津喜多方青年会議所の組織や行動を振り返るきっかけにもなりました。

人口減少が加速していく中で、会津喜多方青年会議所の役割は何か？なぜ理事長候補者がいないのか？我々青年は何を目指していかなければならないのか？など一人一人が問題と正面から向き合い行動を起こすことで、必ず答えは見つかるかと我々は信じています。

今年の臨時総会と通常総会は同日開催となり、総会開催までの期間は慌ただしいものでしたが、その壁を乗り越えることでまた一つ『英知と勇気と情熱』を振り絞る機会にもなりました。これまで諸先輩方が築き上げてくれた会津喜多方青年会議所の歴史にまた一つ加えることができましたこと、そして今年も総会を無事に開催できましたことをここに報告いたします。

組織運営委員会委員長 瓜生 真吾

### ★2021年度理事者一覧★

・理事	瓜生 真吾 君
・理事	遠藤 葉里寿 君
・理事	齋藤 政和 君
・理事	佐藤 健太郎 君
・理事	塩田 誉幸 君
・理事	白水 和也 君
・理事	鈴木 康浩 君
・理事	高内 広樹 君
・理事	中野 拓実 君
・理事	武藏 伸一郎 君
・理事	武藤 隆弘 君
・監事	渡部 源一郎 君



## 11月例会告知

『我々はどこからきたのか』

我々は何者か 我々はどこへいくのか』

「なぜ青年会議所が生まれたのか、何のために、何を生み出そうとしているのか」を学び、青年会議所に対する価値観を共有し、移り変わる時代の中で会員と地域社会から求められる青年会議所の姿を見出すための例会です。

講師をお招きし、日本JC公認プログラムであるVMV (Vision Mission & Values) セミナーを用いて、JCが何をするとするか良く考え、自分たちの運動の方向性を探ります。「JCの発祥の地はどこ?」、「どんな時代背景でできたのか?」から、JCIの目的やJCIクリードの理解を通じて、JCが目指す未来、やるべきこと、そしてその運動の価値等について考えます。コロナ渦の中で改めてJCで何をしたら良いのかを考え、もう一度JCを見直す機会とします。

専務理事 鈴木 康浩

## 会員拡大情報

会員拡大は我々の活動を維持・継続していくためにも必要不可欠な事です。メンバー自身がJCの魅力を理解し、活動を楽しくしていれば、候補者の方も入会したいと感じてくれると思います。私自身、JCで多くの事を学ばせていただきました。具体的には、社会的な常識や利己的な姿勢の改善、プラス思考へのマインドセット、PCの操作などが挙げられます。JCに入っていないなくても明日はやってきますが、前向きに活動するのと入会しないのでは数年間で多くのスキルや人間関係に差が出ると思います。来年度の入会候補者はこれから担当を決めてアタックしていきたいと思えます。依頼されたメンバーは快く勧誘活動をよろしくお願い致します。また新入会会員候補者がいれば、私までご連絡下さい。よろしくお願い致します。

会員研修委員会委員長 岩田悠二郎

## ～ 仕事の流儀 ～

笹正宗酒造 代表取締役 岩田悠二郎

★清酒の製造及び販売★

酒質の向上を第一に考えております。市場のニーズや動向を把握し、時代遅れになりすぎず、「笹正宗っぽさ」を考えながら酒造りに励んでおります。原料にこだわりつつ、財務諸表とのバランスを取りながら会社としての経営を意識して取り組んでいます。まだまだブランド力が足りないと感じていますので、日々邁進していきたいと思っております。

～趣味～

読書です。今年に入って印象に残った本は「学問のすすめ」です。以前に読んだことがありますが、読み返すと新たな発見を頂きました。週に1冊は読みたいのですが、何だかんだで月に2冊ぐらいが限界ですかね…。📖 JCサウナ部 📖 発足しました。入会希望者は岩田まで



(有) 杏尽 専務 武藏 伸一郎

★日新火災海上保険 代理店★

- ・親切・丁寧にお話をするよう努力をしております。
- ・事故対応・困りごとに対して、対応できる業者様の紹介を行うなどお客様に寄り添った対応を取っています。
- ・パソコンの操作方法・修理等、相談に乗ったり時には修理、資料作成などを行っています

～趣味～

将棋 筋トレ テトリス ナンプレ 本を読む

